

a学校教育目標	ふるさとに愛着と誇りを持ち、ゆめの実現に向けて学び続ける児童の育成	a経営理念 ミッション・ビジョン	[ミッション] [ビジョン] 統合経路校としての財産を地域・学校に発信し、円滑な学校統合及び小中連携教育の推進に貢献する。 ふるさとを大切に育てる子どもを育成する教育活動を展開し、地域の信頼が集まる学校をつくる。										学校関係者評価			改善計画		
			評価計画		e評価項目・指標		f目標値		g評価基準		h7月		i9月		j結果と課題の説明		k評価	lコメント
b中期経営目標	c短期経営目標	d目標達成のための方策	e評価項目・指標	f目標値	g評価基準	h7月	i9月	j結果と課題の説明	k評価	lコメント	m改善案							
確かな学力の育成	教師の指導力・授業力の向上を図り、確かな学力を身につけさせる。	○小中連携・共通授業システムの方策を定める。	教師の自己評価を毎学期期首の意識を高め、昨年度より達成率を上げる。	90%	80%以上	75%以上	70%以上	65%以上	60%未満	91%	94.0%	134.2%	5	授業スタイルの定着を図ることができた。(94%)まともをするための時間を確保することが必要である。学びの七か条については、姿勢と事前準備に課題が残っている。目標を絞って取り組む。	○			小中連携授業システムについては、めあてに対するまともを確実にする。また、聞く姿勢を徹底させるとともに、話し手には最後まできちんと伝える姿勢を持たせる。
			発表する時、理由づけ・結論先行・ナンバリング・順序立てて使う児童を増やす。	80%	90%以上	85%以上	80%以上	75%以上	70%未満	75%	88.0%	110.0%	5	比較思考場面設定(88%)理由づけ発言(93%)に達し、教師が意識して授業に臨むようになってきた。このことにより、論理的な思考力・表現力が高まってきていると言える。しかし、表現力には個人差がある。	○			論理的に話す力を高めるために、比較思考場面の設定および発言時の話型を習慣化する。
			単元末テストにおける読む力・数学的な考え方の平均点を、全国平均より5ポイント上げる。	全国平均	6ポイント以上	3ポイント以上	全国平均	ポイント以下	6ポイント以下	3.8ポイント	8.8ポイント	108.3%	4	単元末テストにおける読む力(+8.3)数学的な考え方(+2.5)ともに、全国平均点を上回っている。共通課題は、文章内容をたつかむ点にある。	○			文章内容を読み取らせるための手立てを考える。国語では、一つの話を一文にまとめる。接続詞、副詞、順序を書き出す言葉などに気をつける。算数では、「キーワードを囲む、問いに波線を引く。単位・数値を囲む。」ことを全校が統一して取り組む。
			研究授業の中で各学級、支援の提示があった。効果的な支援をしていくために実践交流や個々の実態把握は今後も必要である。	2点	4点以上	3点	2点	1点	0点	2点	2点	100.0%	3	研究授業の中で各学級、支援の提示があった。効果的な支援をしていくために実践交流や個々の実態把握は今後も必要である。	○			各学級の支援を充実させるために支援学級の取組みを紹介する。個別の指導計画との関連を明確にした授業提案をする。
豊かな地域と連携し、様々な活動を通して豊かな人間性と感性を育む。	(1)社会に適應する人間関係を進める。(挨拶・掃除・きまりを守る)	○時間いっぱい掃除する態度を育てるために、担当職員が児童とともに掃除をし、肯定的評価をする。	毎月の挨拶週間の集計と、学期ごとの保護者アンケートの集計をする。	80%	90%以上	85%以上	80%以上	75%以上	70%未満	91%	90%	112.5%	5	学校や家庭、地域での挨拶はよくできているが、意識が薄れると声がかさくなる。友達への挨拶が少ない。	○			地域住民の生の声はどうであったも検証したらよいと思います。
			掃除振り回りカードの集計をする。	85%	95%以上	90%以上	85%以上	80%以上	75%未満	86%	91%	107.0%	4	高学年が低学年に掃除のやり方を教えたり、指示を出したりして時間いっぱい掃除をすることができた。年度当初に、掃除用具の使い方や掃除のしかた、リーダーの活動についての指導が必要である。	○			運動会までは学年掃除とし、高学年には掃除リーダーの仕事内容や掃除の仕方を指導する。他の学年には掃除用具の使い方や掃除の仕方を指導する。6月からは、縦割り班で掃除をする。
			月1回以上、全校集会や学級で調べ、指導する。	85%	90%以上	80%以上	85%以上	80%以上	75%未満	93%	91%	107.0%	4	声かけなければ意識が薄れ、学習に必要なものを持ってくるなどきまりが守れないことがあった。	○			集会や学級で、児童や保護者にきまりについて伝え徹底させる。
			毎月の報告に基づき入れ、全体の達成率を上げる。	2種類	4種類	3種類	2種類	1種類	0種類	3種類	4種類	200.0%	5	道徳の時間に各学年毎月平均4種類の工夫を行ったこと、ゲストティーチャーの活用により、道徳的価値を高めることができた。	○			道徳の授業の質を高めるために、お互いが授業を見合う。また、家庭や地域社会との連携による道徳教育を進めていく。道徳も必要だと思う。
たくましく自立し、自らを鍛え、自らを管理する力を育てる。	(2)道徳教育の質の向上を図る。	○道徳の時間を工夫(役割演技・資料提示方法・導入の仕方等)する。	毎月の目標冊数(低:10冊以上・中:7冊以上・高:5冊以上)を達成することで、冊数を増やす。	80%	100%	80%	80%	70%	60%	98%	98%	123.0%	4	98%の児童が目標を達成することができた。読書冊数は全体的に伸びてきたが個人差がある。個人への取り組みを充実させていく。	○			家庭に呼びかけ、週末読書の徹底を図る。
			全校で統一した取り組み(週2回の家庭読書の目設定・記録カードの記入)をする。	85%	95%以上	90%以上	85%以上	80%以上	75%未満	51%	89.0%	104.0%	3	全校で脚力強化運動・外遊びを推奨することで脚力強化の取り組みを進め、50m走の自己記録を11月時点で89%の児童が更新した。年間を見通した脚力強化の取り組みを充実させていく。	○			年間を通して、来年度も全校で脚力強化を中心とした体力づくりを進めていく。また、縦割り班・学級を中心とした外遊びの推奨をし、体を動かす楽しさを体感させる。
			50m走で4月の最高タイムを更新することができた児童の割合(評価7月)を85%以上にする。	80%	90%以上	85%以上	80%以上	75%以上	70%未満	96.0%	120.0%	5	全校で朝のジョギングをしたり放課後高学年を中心に地域の駅伝・マラソン大会に向けて練習したりして持久走の自己記録を96%の児童が更新した。今後も、目標意識を持たせて持久走に取り組んでいく。	○			各種大会で好成績を収めているが学校全体のレベルアップが図える。運動能力が伸びることによって学習面、生活面も向上するので継続して取り組んでほしい。	
			持久走で9月の最高タイムを更新することができた児童の割合(評価12月)を80%以上にする。	3回	5回	4回	3回	2回	1回	3回	3回	100.0%	3	食育の年間計画に基づき、全学年で講師を招いて食育指導を行った。来年度につなげるためにファイルを作成し資料を残していた。各学年の取り組みが学校全体に広がるようにしていく必要がある。	○			栄養バランスのとれた朝食の大切さを中心にして全体・学級指導を行う。「生活習慣調べ」を通して、食に関する意識化を図るとともに保護者との連携を密にする。
信頼される学校づくり	(1)地域、保護者へ学校・学級情報の発信をし、信頼される学校をつくる。	○学校だより・保健だより、HP更新を月1回する。 ○学級だよりを月2回以上発行する。	○学校だより・保健だより、HP更新を月1回する。 ○学級だよりを月2回以上発行する。	1回	3回	2回	1回	0回	0回	1回	1回	100%	3	各たよりについては、目標を十分達成できている。内容の充実を図り地域や保護者との連携をしっかりとってきた。HP更新については、夏季休業中にHP作成の研修をしたが、その後計画的に更新することができなかった。	○			学校だより・学級だよりや授業参観を通して、地元の子どもたちの様子や学校の取り組みがよく理解できた。
			○地域の自然・文化・歴史・人材等を生かした「ふるさと学習」に取り組み、学んだことを基に地域へ貢献しようとする児童を育てる。	2回	4回	3回	2回	1回	0回	3回	8回	400%	5	ふるさと学習は、全学年7回以上取り組むことができた。また、あいさつ・交流・手紙・掲示等の形で、学んだことを地域へ返す取り組みが全学年5回以上実施できた。地域の教育力をしっかりと活用することができ児童も地域のおよさを知ることができた。また、地域とのつながりもできてきた。	○			地域学習や地域行事への参加の取り組みが積極的になされていると思う。保育所との連携もさらに深めてほしいと思います。小中学校の連携が推進されていると思います。小中連携の活動は効果が表れていると思います。
			○地域の自然・文化・歴史・人材等を生かした「ふるさと学習」を取り組み、学んだことを基に地域へ貢献する。(アンケート・手紙・掲示・まとの掲示等)	5回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	5回	100%	3	年間5回の評価の方策進行の確認や見直しはすることができた。その結果を基に、改善案を考え、実行してきた。しかし、各節の取り組みを全体のものにするのができにくかった。	○			企画委員会を月2回、各部会を月2回定期的に実施する。また、各部会で児童の課題や今後の取り組みについて話し合い、全職員で共通理解のもと実施する。
			○方策進行管理を計画的に実施することで、システムの充実と改善を図る。	5回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	5回	100%	3	評価項目が複雑で、評価項目ごとに異なり評価するのに判断が難しいと思いました。評価項目の目標値に対して達成度が100%を超えているのに評価が低いと思いました。内容は、説明を受けて分かりましたが目標値の見直しをした方がより分かりやすいと思いました。200%以上の達成ができるようなら目標値のレベルを上げたらよいのではないだろうか。	○			